



日本共産党杉並区議会議員

週刊

こんにちは
こうへい
山田耕平
です

2022.2.17 No.435

このニュースへのご感想
ご意見をお寄せください!

杉並区善福寺2-2-11

TEL 090-9973-0941

ホームページ

http://yamadakohei.jp

右QRコードを
ご活用下さい



杉並区議会「区民の疑問や不安が解消されていない」国等に意見書 外環道 住民の声を無視した工事再開は止めよ

住民説明会での資料

事故を踏まえた今後の対応

■陥没・空洞の原因

〈事故発生箇所付近での夜間停止〉
○夜間の停止中に剛った土と添加材が分離
○下部に土砂がたまり、土が締め固まらなかった
○翌朝、カッターが回らなくなりました

〈翌朝の工事〉
○回らなくなったカッターを回すため、特別な作業を行った時に、地山の土が過剰に入り込んでしまい、その後の掘進において、土を取り込みすぎた。
○シールドマシン上部にゆるみが発生
○上方に伝わり陥没・空洞が発生

■今後の対応

対応Ⅰ
○掘進停止中も、土の締め固まりを生じさせません

対応Ⅱ
○取り込んだ土の量を丁寧に把握します

対応Ⅲ ○お住まいの皆さまの安全・安心を高めます

- ・振動・騒音をできるだけ低減します
- ・積極的に情報提供を行います
- ・地表面などのモニタリングを強化します
- ・緊急時にも安心できる対応を整えます

調布市での地表陥没や複数の巨大地下空洞発生事故を起こした東京外かく環状道路工事（外環道）が、工事再開に向けた動きを加速するなか、杉並区議会は「区民の疑問や不安が解消されていない」として、国・事業者に意見書・要請書を提出しました。

コロナ禍での説明会強行 住民の声にも応えず…

コロナ禍のなか、1月23日～2月1日にかけて、外環道の工事再開に向けた住民説明会が各地で強行されました。第6波による爆発的な感染拡大により、多くの住民が説明会に参加出来ない状況にも関わらず、アリバイ的に説明会を開催し、工事を再開することは重大な問題です。

沿線自治体の住民等がコロナ禍での説明会開催を止めるよう要請しましたが、国・事業者は、その声も無視し、準備が整い次第、工事を再開するとしています。

国・事業者が示す再発防止対策についても、ボーリング調査やモニタリングが不十分であり、振動による地表面への影響（調布市で家屋被害が発生）等も「できるだけ低減します」等の抽象的な説明に終始しています。

東京外かく環状道路（関越～東名）事業に関する意見書

令和2年10月に発生した調布市での地表陥没・空洞事故を受け、当区議会は事業者に対して、早急な原因の究明等を求める緊急要請を行いました。

その後、事業者においては、有識者委員会を設置し、令和3年12月に「再発防止対策及び地域の安全・安心を高める取り組み」を取りまとめ、本年1月27日及び29日には、当区で説明会を開催しております。

説明会においては、沿線住民の安全確保や不安解消を目的とした具体的な取組についての報告がありましたが、区民の方々からは、疑問や不安が解消されていないなど、工事の再開に対して懸念する声をいただいております。

これまで、区からは再三にわたり区民の安全・安心に繋がる取組を求めており、外環事業を進めるにあたっては、同様の事故を二度と起こさないよう、再発防止対策を図りながら、より丁寧に進めることを強く望むものです。

区民の安全・安心を守る立場の地元区議会として、沿線住民の安全確保・不安の解消に万全の対策を講じるよう、次の事項を要請します。

- 1 「再発防止対策及び地域の安全・安心を高める取り組み」の確実な履行に努めること。
- 2 区民に対して十分な説明の場を設け、丁寧な説明を行うこと。
- 3 事前事後を含む工事のモニタリングを実施し、その情報を適切に公開すること。
- 4 新たにシールド掘進断面以深のボーリング調査を早期に実施し、当区にシールドマシンが到達する前に、その調査結果を丁寧に説明すること。
- 5 引き続き、沿線7区市と十分な情報共有を図り、定期的な協議の場を設けること。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出します。

杉並区議会が国に対して提出した意見書

住民無視の国・事業者へ 超党派議員で意見書提出

説明会で出された住民の疑問や不安にも応えないまま、各地の説明会は終了しました。

工事再開に対して、多くの住民の懸念の声が高まるなか、杉並区議会の全交渉会派（自民・公明・共産・連携・立無・平和・無維）が一致して意見書・要請書を提出しました。これまで外環道工事を推進してきた会派も含めた超党派議員の行動であり、重要な取り組みです。同趣旨の要請は、杉並区からも行なわれています。

沿線自治体からの要請を無視して、外環道工事を再開することは許されません。引き続き、工事再開中止を求めます。

都市計画道路整備・駅周辺再開発の推進姿勢を示す

2月9日から、杉並区議会第一回定例会が開会しました。区長の予算編成方針の説明を受け、各会派の代表質問が行なわれました。

住民合意の無い道路整備・再開発は中止を

区長の予算編成方針説明では、各地の都市計画道路整備を進め、駅周辺再開発も含めた「まちづくり方針」の策定を推進することが示されました。コロナ禍のなかで、住民合意の無い道路整備を強行し、駅前再開発を進める姿勢は問題です。

代表質問では、補助132号線（西荻窪）、補助221号線（高円寺く中野）の都市計画道路整備は、商店街や住宅の立ち退きを伴うため、近隣住民からの根強い計画見直しの声が寄せられていることを取り上げ、計画を見直すことを求めました。また、西荻窪駅南側・補助132号線拡張予定地で用地買収を進めている法人（左）がタックスヘイブン・私書箱957に籍を置いており、金融庁証券取引等監視委員会関係者からも、同私書箱に籍を置く法人の悪用性等の問題点が指摘されていることを紹介。都市計画道路整備が西荻窪駅南側再開発や問題ある法人の進出を誘発している実態を告発しました。

区長は、住民の反対の声を認識しているとしつつ、「立ち止まらず着実に進める」と強弁。「民間売買に関する動きは把握できない」と開き直りの答弁に終始しました。道路整備の強行が再開発を誘導し、問題ある法人の進出を招いていることは許されません。

補助132号線近隣の登記異動状況より



- 2019年12月から所有
- 法人名: オーダブリュディーリミテッド OWD Limited
- 所在地: 英国領ヴァージン諸島トルトラ島ロードタウンオブショアインコーポレーションズセンター私書箱957号※
- ※ タックスヘイブン・租税回避地

今週の一言

17日間の療養生活終了

妻の勤務先の保育園（三鷹市）でクラスターが発生し、1月29日（土）から妻が新型コロナに罹患。その後、私も2月1日から熱発、陽性に。家族一同が完全復帰するまで17日間の療養生活となりました。家族以外に濃厚接触者がいなかったのは、不幸中の幸いでした。

療養期間中は、実家や近隣のみなさまのご支援を受けて、何とか生活することが出来ました。みなさまのご支援、本当にありがとうございました。一方で、単身世帯や高齢者世帯、近所に知り合いや親族がない場合は、深刻な療養生活になることも痛感しました。療養生活を通じて経験した課題や改善点等は、今後の議会活動にしっかりと反映していきたいと思っております。

補助133号線整備と一体に南阿佐谷駅周辺再開発へ 区役所本庁舎・周辺公共施設の再編に言及

区長は予算編成方針の説明で都市計画道路補助133号線の整備に関わり、区役所本庁舎東棟や周辺公共施設の再編整備を示しました。補助133号線は既存道路も無い住宅街を通過する都市計画道路であり、立ち退き戸数も大規模となります。計画沿線住民は計画中止を求める切実な声を上げており、計画反対署名は3千筆を超えています。

代表質問では、住宅街を壊し、道路整備を強行することを止めるよう求めました。一方、田中区長は都市計画道路の整備促進に取り組むと答弁。南阿佐谷駅周辺の再編対象の公共施設として区役所本庁舎、税務署、警察署、消防署、郵便局などを検討している、としました。

区役所本庁舎等の改築も含めた南阿佐谷駅周辺の再開発に繋がる可能性があります。



補助133号線近隣の住民が計画中止を求めステッカー等を作成。